

(オプトアウト)

## 米沢市立病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	小児看護外来におけるエピペン®使用に関する相談内容とその対応
該当者	小児看護外来でエピペン®指導を受けた患者とその家族。
当院の研究責任者	診療部長・診療部小児科部長：本間 信夫
研究代表者	看護部小児科外来：本間 恵美
本研究の目的	<p>乳幼児期に発症することが多い食物アレルギー（FA）のお子さんは、学童期・思春期まで遷延することも少なくありません。中でも重篤な症状が起こる可能性のあるお子さんには、エピペン®が処方されています。また、過去の文献ではFAのお子さんは成長に伴い不安が増大することや、友人との食事を諦めたり遠征参加を取りやめたりなど食生活・社会生活に影響を与えていることが明らかにされています。</p> <p>本研究では、小児看護外来で対応したエピペン®使用に関する相談内容とその対応の中から、どのような時期にどのような困難を感じているのか、またどのような指導をしたのかを明らかにすることで、今後の支援の示唆を得ることを目的としています。</p>
実施予定期間	2023年4月1日～2024年3月31日
研究の方法 (研究に用いる試料・情報の種類)	<p>1) 調査期間に受診された対象患者さんとその家族を対象に、年齢、食物アレルギーの種類、処方薬剤、エピペン®処方開始年齢、エピペン®注射歴、FAで困っていること、エピペン®に対する不安、注射手技、在籍する環境、友達との関係、給食対応の種類、ライフイベント、その他特記すべき事項を調査票に入力します。入力されたデータはパスワードをかけて保存します。(生年月日、カルテ番号、住所、氏名など、個人を特定するような情報は研究に用いません。)</p> <p>2) 本研究は診療録を用いた調査研究であるため、研究対象者から文責または口頭による同意取得はいたしません。</p>
外部への試料・情報の提供・公表	研究結果は、山形県小児保健会研修会や学会などで発表する予定です。

個人情報の取扱い	生年月日、カルテ番号、住所、氏名など、個人を特定するような情報は研究に用いません。
利益相反	本研究は山形県小児保健会の委託研究です。また、本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	電話：0238-22-2450(内線 2281)，研究責任者：小児科外来 本間恵美